

企画展

# 石碑

## で読み解く 郷土の歴史



岸本君三世功德碑(沓掛)



國王神社碑(岩井)



茶類中山翁製茶紀功碑(辺田)



式歩橋詞碑(馬立)



長塚節歌碑(生子)



野口雨情歌碑(岩井)

最新の情報はホームページをご覧ください

【開館時間】平 日午前10時～午後6時30分  
土日祝午前10時～午後5時  
【休館日】月曜日(祝日の場合はその翌日)・祝日の翌日  
【入場料】無料

令和4年  
2月26日(土)  
5月22日(日)

私たちが住む坂東市内には、数多くの石碑が存在しています。道路の片隅や寺社の境内、墓地や公園など、身近な場所に石碑は建っていますが、何が刻まれているか興味をもって読んでみようという方は少ないのではないのでしょうか。

現在、市内各所で道路や田畑の整備、住宅地や工業用地の開発が行われており、昔からあった風景は少しずつ失われつつあります。また、時代の変化の中で地域の歴史や代々受け継がれてきた先祖の記憶も忘れ去られようとしています。こうした状況の中、地域に残された石碑は、先祖が紡いできた暮らしと営みの証であり、過去の村の姿や事件・出来事を知るための大切な記録となるものです。また、碑文を読むことで、人々がどんな思いをもってその碑を建て、事蹟を後世に残そうとしたかを知ることが出来るでしょう。

今企画展では、市内に散在する史跡や人物の顕彰碑、文学碑、墓碑、記念碑、道標など、身近にありながらも知られざる地域遺産である石碑が語る郷土の歴史を紹介いたします。本展を通じて石碑の価値が見直され、ふるさとの歴史を物語る文化財として、末永く大切に守り伝えられますことを願うものであります。



**國王神社碑 (岩井 國王神社境内)**  
 地元の人々が平将門顕彰のため史跡に碑を建てたことを記念し、明治45年に建立された。



**茶頭中山翁製茶紀功碑 (辺田)**  
 猿島茶の発展に尽くした中山元成の事蹟を記した碑で、地元有志や全国の茶業関係者により明治28年に建立された。



**鵜戸沼干拓之碑 (鵜戸)**  
 昭和初期から戦中・戦後に行われた干拓工事によって完成した鵜戸沼干拓事業の経緯を記した記念碑。



**岸本君二世功徳碑 (沓掛 藤岡稻荷神社境内)**  
 飯沼新田の村々を治めた岸本代官父子の業績を讃えた碑で、裏面には建碑した63か村新田の名が刻まれている。



**修万蔵院堂塔記碑 (生子 萬蔵院境内)**  
 明治期に住職となった中川大俊師の努力によって堂宇が修理され寺門復興の様子が記されている。



**喜楽柳碑 (生子新田)**  
 日露戦争に従軍し24歳で戦死した若者の遺志で人々の憩いの場が造られた事を記念し建碑された。

市内の石碑を多数掲載

**石碑探訪  
 ハンドブックを刊行!!**

『坂東市石碑探訪ハンドブック』  
 (A5判 P140 定価700円)

顕彰碑、文学碑、墓碑、記念碑、道標など市内に残るさまざまな石碑を、数多く掲載しています。石碑巡りや郷土史探訪のお供として、ぜひお求めください。



**坂東市立資料館**

〒306-0502 茨城県坂東市山 2726  
 TEL 0280-88-8700・0297-44-0055